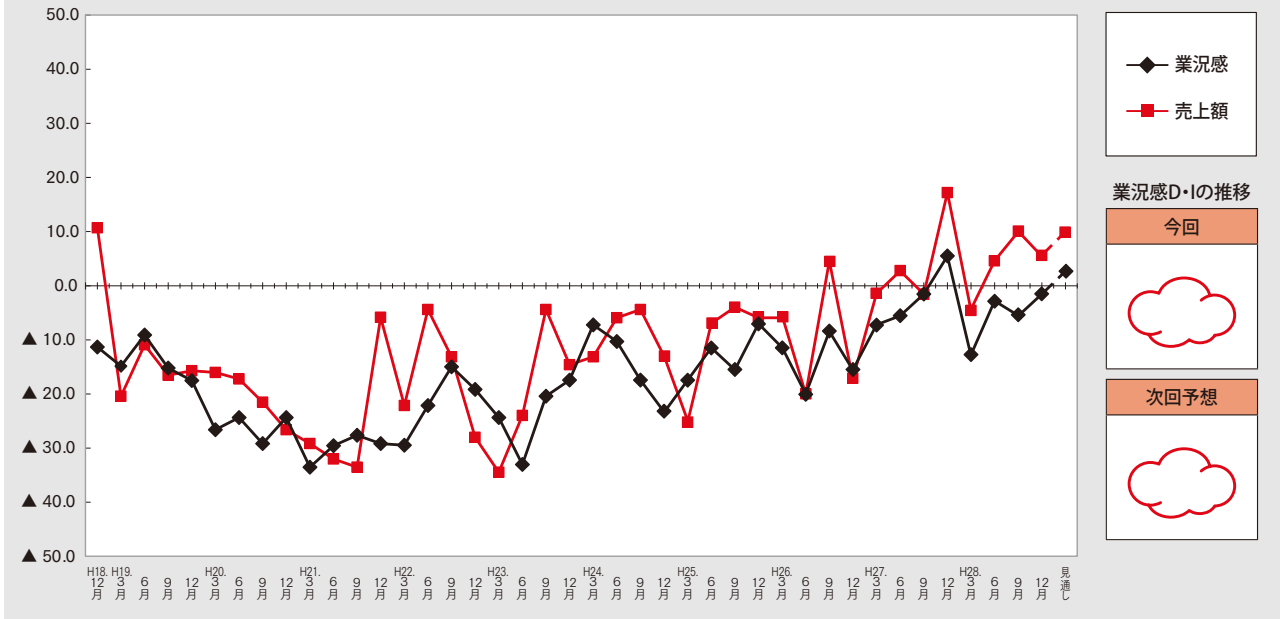


# 卸売業

Wholesale trade

# 業況感再び上昇

D・I 推移グラフ (卸売業)



## 1 今期 (平成28年10-12月期)

卸売業の業況感は、今期▲1.4 (前期▲5.7)となり、前期比4.3ポイント上昇。

売上額・販売価格は前期から低下したもののD I 値自体はプラスを維持。その他の項目についても横ばいまたは悪化となっている。在庫の過剰感はやや解消。雇用についても不足感がやや弱まった。

## 2 来期の予想 (平成29年1-3月期)

来期は業況感が改善され、今期から4.3ポイント上昇し、2.9まで上昇する見込みとなっている。D I 値がプラスまで改善するのは、平成27年12月期から5期ぶりである。

また、その他の項目でも改善傾向が強まっており、販売価格は低迷しているものの売上額D I、仕入価格が収益D Iは改善。その結果、収益D Iは今期の▲2.9から11.5ポイント上昇し、8.6とプラス値へ転じる予想となっている。

## DI値の推移 (過去1年と3ヶ月後の予想)

	H27. 12月期	H28. 3月期	H28. 6月期	H28. 9月期	H28. 12月期	来期 見込み
業況感	5.7	▲ 12.9	▲ 2.9	▲ 5.7	▲ 1.4	2.9
売上額	17.1	▲ 4.3	4.3	10.0	5.7	10.0
収益	14.3	▲ 1.4	2.9	0.0	▲ 2.9	8.6
販売価格	2.9	7.1	2.9	11.4	1.4	▲ 1.4
仕入価格	▲ 4.3	▲ 17.1	▲ 4.3	▲ 11.4	▲ 13.0	▲ 8.6
在庫	▲ 2.9	▲ 5.7	4.3	▲ 4.3	▲ 1.4	2.9
資金繰り	▲ 4.3	▲ 14.3	▲ 17.1	▲ 11.4	▲ 15.7	▲ 15.7
人手	11.6	8.6	14.3	11.4	10.0	8.6
設備状況	7.1	4.3	10.0	7.2	7.1	4.3

## 業況調査メモ

4月の熊本地震では高速道や幹線道路が分断され、物流業者の配送システムは大きく混乱した。被災地区のコンビニに1日に3回も商品を届ける必要のあるトラック運送業者は、震災直後に迂回道路を探しながら商品を届けたのに店内は棚が倒れ、真っ暗で、店の人も避難している店舗が少なくなかったという。一方、配送ルート確保に手間取り、配送時間も長くなったうえ、店舗からの食品や日用雑貨などのオーダーが膨れ上がり、配送センターでは商品のピッキングに不眠不休の日々が続いた。卸売業では災害時における物流システムのあり方について検証し、日ごろから準備しておく必要があるようだ。